

'68

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 462 号

1968.7.23 (火) 晴

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
② 0707.2838
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ② 5775

会報はご家族みんなまでよみましょう

「参加し、敢行しよう」

| | | | | | |
|----|----------------|-----------|------------|---------------|-------------|
| 5月 | 地区別順位 68クラブ | 順位 54位 | 会員数 62名 | 出席率 85.48% | 前月順位 42位 |
|----|----------------|-----------|------------|---------------|-------------|

出席報告

本日の出席 会 員 数 64名
出 席 数 52名
出 席 率 81.25%

欠 席 者 長谷川君、平田(圭)君、平田(貢)君、五十嵐(伊)君、嶺岸君、五十嵐(八)君、松田君、森田君、鈴木(昭)君、黒谷君、小野寺君、藪田君

前回の出席 前回出席率 82.81%
修正出席数 58名
確定出席率 90.63%

マークアップ 荒明君、長谷川君、富樫君、中台君、齋藤(栄)君
—鶴岡西RC

ゲスト 鶴岡警察署長 奥山氏
齋藤一郎氏
鶴岡防犯課長 梅津氏
思恩園理事長 小田昌氏

ソング 奉仕の理想 リーダー 安藤君
司 会 会長 石黒慶之助君

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerntd?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

会長報告

・各委員長から活動計画を頂戴いたしました
が、本日でまとまりましたのでただちにクラブ・アッセンブリーをひらきたいと思います
各委員長、理事、役員の方は是非お集まり下さい。

期日 7月27日(土) 場所 ひさごや
時間 6時より アッセンブリー

・会費値上の件
会費をどうしても値上げしなければならぬ状態になりました。その理由を申し上げますと、年間36,000円のところ40,000円に値上げしたい。1人4,000円を値上げしますと年間で260,000円収入になります。第一事務手続の値上げ、年間84,000円のところ、150,000円に上がっております。それにRIの負担金後期は4ドルに値上げになり、年間で23,000円となります。地区負担金が600円のところ750円に値上げになります。万国博覧会の負担金も100円~300円上がり、これら事務負担金が相当値上げになったことであります。

それから、食費の事です。現在300円のところ、350円位値上げしようという話もあります。色々なものを合計しますと、各委員会の予算をそのままにしても、4,000円値上げしても、30,900円程赤字になる見込です。然し乍ら前期に相当の繰越金が残されておりますこれを活用しますと、何とか、この線ですべていこうと思っております。

・前例会に創立十周年記念につきまして、色々アンケートをいただいております。今年は社会奉仕部門に相当な仕事がありますので後程五十嵐一郎君より報告願います。

・林先生の御尽力により、今年秋鶴岡高専にインターアクトが結成されることになりました。その準備の為にインターアクトの委員を次の方に決定いたしました。小花盛雄君、池内方平君、佐藤伊和治君、三井徹君、阿部襄君、安藤定助君、斎藤信義君、林茂助君以上の方を委員にお願いいたします。委員長は委員会で御抽選していただくことになっております。宮城県の互理RCがこの程27名を以って4月27日に発足しました。この度バナーの交換を希望しておりますので、当クラブのバナー交換いたしました。

・小花先生の御尽力によりまして愈々交換学生が決定になりました。次期例会にお話しを願います。

☆社会奉仕委員長

社会法人の思恩会の方より、後援会に入ってもらいたいという書面がありました。理事会で検討いたしました。会員の中から後援会に入ることには本当でないということで、例年のように寄附のかたちでやったらどうかとのことで、理事会の承認を得ました。各個人が後援会に入っていただきたいという話がありますので、皆様方からよろしく願います。会費は1人1,000円でございます。

防犯協議会に救急人工蘇生器をおくることに決定いたしましたので御報告申し上げます。

社会福祉法人思恩会の概要

思恩園理事長 小田 昌氏

☆社会福祉法人の思恩会の概要につき、お話し申し上げます。

この社会福祉法人というのは、社会福祉事業法という法律が昭和26年に出来、この法律に基づいた特殊法人でございます。これは民間団体で今から約40年前、湯之浜出身の五十嵐義藏先生が、熱烈な宗教精神に燃えて自から養老院と法人を設立した慈善事業団体であります。時代が変り、財団法人となり、更に社会福祉法人になったのであります。

慈善事業というのは、特定の恩情ある人が特定の恵まれない人達に恵をあたえるというのであります。然し時代はこうした個人的なやりかたではまにあわなくなってきたというので、政府や公共団体が自からこれに取り組む必要にいたり、法律にもとづいて社会事業を政府、或は公共団体が推選することになりました。従って、社会事業は本来は政府や公共団体が自からやるべきたてまでであるが、現在は財的な負担の面から民間で経営しているのであります。これに対して委託費という名

目で収容者1人いくらという経費を出しております。

我々の思恩会という法人は、現在老人ホームと児童ホームの両施設になっております。ところが、両施設には政府からは金は来ませんが、その範囲でまかないますが、法人というものに対しては、金は一銭もきません。ただ特点としては、法人は税金をかけないから、何か収益事業をやって、それで不足分をまかなえということになっております。これは政府が一つの民間施設に対するにげ口実ではないかと私達は考えております。それで、思恩会自体の経費はどうなっているかと申しますと、第一に職員員の退職金これが50,000円必要です。それから公有地借地料、約270,000円その他事務費、役員費その他臨時営繕費、合計1,500,000円はどうしても必要であります。

現在鶴岡市からは160,000円、酒田から50,000円、その他庄内の12町村から約40,000円助成金をいただいております。その他、思恩会にありました協力会という団体から200,000円それから県の協同募金会から100,000円、合計550,000円です。どうしても600,000円は赤字になっております。今後の計上費というものはどうしても不足するといふので今後の経費は不安定なのであります。

一昨年の秋に後援会を創立して、地域社会の各方面からの御協力を仰がねばやっけないというわけです。今年の決算におきましては、800,000円の御後援をいただきました。地元県会議員をとうして、県の助成を願いましたが、県ではこれには、予算も計上してないといふので、知事個人として、60,000円を頂戴いたしました。合計760,000円は3月に御後援願っております。

民間社会事業というものは容易でないということをお理解いただき、何卒皆様からの御後援を賜りますようお願い少々御礼申し上げます。

幹事報告

- 会報到着 鶴岡西RC、宮内RC
- 認証式の御案内
千葉県船橋西RC
10月27日 登録時間 12時～13時
場所 船橋市日本建鉄KK体育館
- ・例会変更 7月29日 秋田東RC
16時から 秋田クラブ
東京日本橋RC
8月中旬(火)の例会時間午前8時半から
朝食会 パレスホテル

献立 焼物一鱈物 天ぷら一えび、アスパラカス、茄子、いんげん
味噌汁一粕仕立